

すわ 市議会だより

3月定例会

—第44号—

発行/諏訪市議会 編集/議会だより編集委員会 〒392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30 TEL0266-52-4141

諏訪市ホームページ <http://www.city.suwa.lg.jp>



仮園舎での入園式(こなみ保育園)

2月臨時市議会、3月定例会市議会、議員提出議案	2P
予算審査特別委員会報告	3P
総務産業委員会報告、請願・陳情審議結果	4P
社会文教委員会報告	5P
代表質問(2議員)	6,7P
一般質問(10議員)	7Pから
議案審議結果、編集後記	12P

議長退任挨拶

諏訪市議会 議長

小林 佐敏

御神渡りはありませんでしたが例年にも増して冷え込んだ冬も終わり、春の草花の咲く季節を迎え、市民の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

私達議員も四年の任期満了となりますが、今日まで議会に対し、心温まるご指導ご支援をいただきましたことに對しまして、心から感謝申し上げます。

この間、諏訪市始まって以来の議員定数十五名での議会運営を軌道に乗せるべく議員一同、新たな決意を持って、諏訪地域の中核都市としてふさわしい、市民の皆様との信頼関係構築に向けて努めてまいりました。初めての二委員会での審議、審査範囲の増大等、様々な場面での新たな対応が迫られた部分も経験し、これまで取り組んできた議会改革の意味を理解しながら、多くの皆様にサポートしていただき、大過なく送ることが出来たことに深く感謝を申し上げます。

今日までいただいた教訓を胸に、それぞれの立場で諏訪市発展と福祉向上のために、更なる努力をさせていただくことを申し添え、退任の挨拶とさせていただきます。

2月臨時市議会

平成23年第1回（2月）臨時会が2月10日に行われました。臨時会には議案1件が提出され、可決されました。

<2月臨時会日程>

2月10日 本会議（議案上程・説明・議案質疑・付託・緊急質問）
総務産業委員会
本会議（委員長報告・質疑・討論・採決）

平成二十三年第一回
（二月）臨時会

○議案第一号 平成二十二年度諏訪市一般会計補正予算（第六号）

（賛成多数）可決

この補正は、まるみつ百貨店の閉店以降の緊急対応として駅前緊急買物サポート事業費二百九十九万一千円と、駅前賑わい再生事業費五百万円を計上するものであります。

3名の議員により緊急質問が行われました。

・守屋 陽子

まるみつ閉店問題について

・今井 愛郎

これまでの中心市街地活性化策と今後の施策との整合性について

・有賀 ゆかり

駅前緊急対策を受けての課題について

総務産業委員長報告

◎駅前緊急サポート事業について。

まるみつが二月二十日で閉店するため、買い物弱者が発生することについて、ジャンボタクシーを借り上げ、ピックアップ、角上、綿半、西友の四店舗とまるみつ前の間を一日四便運行するものです。

質疑では、大型店四店に誘客することの正当性及び、七者協議での合意がどこまで図られていたのか。利

用者からアンケートを含めた実証の検証などに集中しました。

討論では、駅前だけに限ったタクシーの対応ではなく、全市的な観点から福祉タクシーの導入を決断すべきであり反対。緊急的に実施する実験的要素を含んだ施策であり、賛成との討論がありました。

◎駅前賑わい再生計画策定委託料五百万円について。

事業の内容は、中・長期的対策としてコンサルタントに委託して、再生計画策定のための情報収集などを行うための経費です。

調査の期間は、新年度に入って最低三カ月はかかるとされ、まるみつに大きな変化があれば予算の凍結または不執行もあり得るとの認識も示されました。

討論では、まるみつの土地建物の所有者、周辺商店者、スワプラザなどの頭越しにコンサルタントに委託することは非常に意思疎通を欠き、失礼な話であり、その意思疎通が先である。コンサルタントに委託しなくても、市、商工会議所、TMOなど関係者の力を合わせれば方向性が見出せると思う、との反対討論と、コンサルタント委託の内容を聞き、更に話し合いが進めば、新たな課題の委託も考えられる。議会として関与して進められる担保も得られたとして賛成との討論があり、当委員会では反対1、賛成5で可決です。

3月定例市議会

平成23年第2回（3月）定例会が、2月21日から3月15日までの会期で行われました。

今定例会には、報告2件、議案25件が提出され、すべて可決されました。

<3月定例会日程>

2月21日 本会議（議案上程・説明）
（一部議案については、委員会付託から採決）
24日 本会議（議案質疑・付託）
3月1日 本会議（代表質問・選挙・一般質問）
2日 本会議（一般質問）
4日 常任委員会
8～11日 予算審査特別委員会
15日 本会議（委員長報告・質疑・討論・採決）

議員提出議案 （意見書関係）

◇環太平洋パートナーシップ（TPP）協定に関する意見書：（全会一致）可決
政府は、平成二十二年十一月九日に「環太平洋パートナーシップ（TPP）協定」については、その情報収集を進めながら対応していく必要がある、国内の環境整備を早急に進めるとともに、関係国との協議を開始する」とした「包括的経済連携に関する基本方針」を閣議決定し、アジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会談でこの方針を表明しました。TPP協定は、関税撤廃の例外を認めない「完全な自由貿易化」を目指しており、十分な対策を講じないまま参加することは、特に農業をはじめ、他の国内産業に深刻な影響をもたらすことが懸念されています。

よって、TPP協定については、国民合意が得られるよう、国会において十分に審議することを要請する意見書を十二月定例会同様の内容で改めて国に提出しました。

平成二十三年年度予算 賛成多数可決

予算審査特別委員会報告 委員長 水野政利

予算審査特別委員会は、三月九日より三月十一日までの四日間に行われ、議長を除く全議員出席のもと、副市長、各部長、局長、次長、課長、係長の出席を求め、担当部局より、それぞれの予算案についての主要事業、特記すべき事項等について、歳入・歳出の説明を求める中で、慎重かつ活発な審査をしました。

各予算について、多面的に検討審査した結果、細部についての若干の見解の違いや異なる評価はありましたが、活発な質疑応答や討論の結果、一般会計予算については、全委員の意見を求め、それぞれ反対・賛成の討論があり、反対三、賛成十で可決でありました。

国民健康保険特別会計予算及び後期高齢者医療特別会計予算については、反対二、賛成十一で可決でありました。

他の四つの特別会計及び二つの公営企業会計については、全会一致可決でありました。
審査内容の質疑の概要は次のとおりです。

予算審査 特別委員会人事

平成23年度の予算審査特別委員会の人事が決まり、議長を除く全議員により予算審査が行われました。

委員長 水野 政利
副委員長 小口 和雄

賛成多数可決

委員長 水野政利

企画部関係では、喫緊の課題である駅前買物サポート事業の総合的な判断、東バ跡地寄附金の今後の対応、アートなまちづくり事業の位置づけとアドバイザーのかかわり、縁結びサポート事業、災害備蓄事業等です。

総務部関係では、職員採用試験の状況、庁舎管理委託の状況、滞納整理機構の効果、公用車購入の考え方等です。

水道局関係では、共同浴場の現況、停水件数と停水に至るまでの過程、精進湯の今後の考え方、水道・温泉使用量減少の対応等です。

教育委員会事務局関係では、憩いの杜の管理体制、体育館耐震診断の対応、原田泰治美術館の指定管理移行の成果、要保護要保護児童援助費の推移、中間教室の状況、公民館使用料有料化による影響等です。

建設部関係では、土木費総額減に対する今後の対応、橋梁長寿化事業の対応、水戸代団地更新事業の計画内容等です。

市民部関係では、住基カードの状況、住民基本台帳への外国人登録の内容、生ごみ堆肥化容器購入補助、湖周ごみ処理施設建設に向けた見直し等です。
消防庶務課関係では、消火栓負担金の予算増額等です。

健康福祉部関係では、特養施設建設による待機者の解消状況、清水学園新築の見直し、敬老祝品の内容、病児病後児保育の実態等です。

経済部関係では、工場等立地促進助成金の状況、農林水産業費の予算のあり方、鳥獣害対策の実情、

中山間地域等直接支払交付事業の状況等です。

討論の概要は次のとおりです。

一般会計予算の反対討論では、外国人まで組み込む住民基本台帳、住基カード、またアートなまちづくり事業、駅前緊急サポート事業、工場等立地促進事業、敬老祝品については評価できないので、反対。また、アートなまちづくり、アドバイザー事業、豊田保育園の建て替え事業等が盛り込まれており、骨格予算ではないので、反対。

賛成討論では、どの様な変化にも対応できる予算立てを検討されており評価します。骨格という部分もあるが、特徴ある予算にはならなくても、無難な予算であり、今後の検討を期待し、賛成。

国民健康保険特別会計予算の反対討論では、一律三千五百円下げたことは、評価するが、一世帯三万円を下げることを要求。その財源は、繰越金、基金及び一般会計からの繰り入れを要求し、反対。

賛成討論では、繰越金や基金も、樂觀視できないことを確認した中、可能な範囲で今回値下げした事を大いに評価し、賛成。

後期高齢者医療特別会計予算の反対討論では、国民全体の負担が益々ふえる中、後期高齢者医療制度を一刻も早く廃止し、老人会計に戻すことを要求し、反対。

賛成討論では、後期高齢者医療制度を廃止すると中間の若者の負担が増えるため、国でも議論をしているので、その結果を見守るべきであり、今の状態では賛成。

以上のとおり、発言回数も多く、密度の濃い審査でした。



予算審査特別委員会

議案審査

第2回（3月）定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

条例一部改正二件、市道路線廃止可決。 一般会計補正予算第八号、公設市場・水道温泉・ 下水道事業の各特別・企業会計補正予算可決。 陳情第六十一号採択。

◎諏訪市公設地方卸売市場条例の一部改正について

市場用地のうち、四十三㎡を売却することにより、市場面積を五万二千八百十五㎡から五万二千七百七十二㎡に改めるものです。全会一致可決。

◎諏訪市水道事業給水条例及び諏訪市温泉事業給湯条例の一部改正について

現行では、水道及び温泉工事とも新設や改造を行った際は、検査手数料として申込者から水道工事の場合は三千円から一万円。温泉工事については三千円から二万五千円の手数料を納付していたものを、一律三千円とするものです。全会一致可決。

◎市道路線の廃止について

末広町の市道二三一一八号線は、個人住宅の出入りのための道路としてのみに供されている道路であり、廃止をして払い下げを予定する市道です。全会一致可決。

◎平成二十二年度諏訪市一般会計補正予算（第八号）

今回の補正では、歳入歳出予算の総額にそれぞれ三億九千四百七十六万八

千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ百九十九億五千三百七十八万七千円とするものです。人件費は退職職員三名の増に対応するものです。廃止された有賀・後山線の代替バスの運行補助金、上諏訪駅自由通路の塗装修繕費、旧東洋パルヴ諏訪工場跡地取得費などです。全会一致可決。

◎平成二十二年度諏訪市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算（第二号）

市場用地の売却代金百八十二万四千円を市場整備基金に積み立てるものです。全会一致可決。

◎平成二十二年度諏訪市水道温泉事業会計補正予算（第一号）

以前に借りた企業債のうち、条件に合った二件を金利が低い企業債に借り換えるものです。約二千万円の節約となります。全会一致可決。

◎平成二十二年度諏訪市下水道事業会計補正予算（第二号）

流域下水道事業の工事が増えたため、諏訪市負担分が増額となるための対応などです。全会一致可決。

◎T P P（環太平洋戦略的経済連携協

定）交渉参加反対に関する要請書

昨年十二月の第四回定例会において継続審査となっていたものです。提出者は信州諏訪農業協同組合代表理事組合長金子文雄氏及びJ A信州諏訪農政対策協議会会長金子文雄氏です。「国民はマスコミの報道でT P Pを知らされている面があり、国民世論は半々ではないか。農業がクロースアップされているが、実は金融、雇用、保険、医療などあらゆる面に及ぶものであり、F T A、E P Aなど交渉途中なのに、アメリカ主導のT P Pに一気に飛び越しての参加はないものと考える」「食料自給率五〇％の目標からおかしなこと」「農業を犠牲にしてというものはいかなるものか」などとして全会一致採択。



上諏訪駅自由通路

3月議会で審議された請願・陳情の結果

請願・陳情番号	請願・陳情内容	提出者	採決結果
陳情第61号	T P P（環太平洋戦略的経済連携協定）交渉参加反対に関する要請書（継続審査）	信州諏訪農業協同組合 代表理事組合長 金子 文雄 J A信州諏訪農政対策協議会 会 長 金子 文雄	採択（全会一致）

議案審査

第2回（3月）定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

条例の一部改正等Ⅱ六件 一般会計補正予算（七号・八号）Ⅱ二件。 特別会計補正予算Ⅱ一件。以上全会一致可決。 条例の一部改正Ⅱ一件可決。

◎平成二十二年度諏訪市一般会計補正予算（第七号）

生活保護費は、生活保護受給者の増加と医療扶助費の急増による補正。全会一致可決。

◎平成二十二年度諏訪市一般会計補正予算（第八号）

社会福祉総務費は、総合福祉センターの多目的トイレ及び洗面所を身体障害者サービスセンター相談室に増設し、相談室を隣に移設するもの。費用は翌年度に繰り越し。

介護保険関連事業費は、広域介護給付費負担金と事務費負担金の減額補正。特別養護老人ホームふくろうの森補助金は、工期が十ヶ月ほど必要であるため翌年度に繰り越す。

生活保護費は、一般会計補正予算（第七号）と同様の理由のもの。

保健衛生費は、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン接種費用の繰越分。

教育総務費は、豊田小学校の改築、上諏訪中学校の屋内運動場改築による学校施設整備基金積立金。中学

校費は、武道の必修化、伝統音楽、伝統文化の充実教育による剣道防具、和楽器の購入費。

文化センター費は、男女トイレ改修工事費。図書館費は、子ども用百科事典、図鑑類、視聴覚資料のDVDと大活字本の購入費。博物館費は、

冷水水発生機の入替設置及び地上式灯油タンクの入替設置と工事施工監理委託費。体育館費は、清水町体育館のバスケットボールコート改修、入口スペースのスロープ拡幅工事費。全会一致可決。

◎諏訪市原田泰治美術館ナীবアート基金条例を廃止するについて

館の運営は指定管理者となり、ナীবアート基金残高を特別補助金として交付し残金が無くなり、条例を廃止するもの。全会一致可決。

◎諏訪市保育所条例の一部改正について
湖南保育園、大熊保育園の統廃合により、新保育園名を「こなみ保育園」とするもの。全会一致可決。

◎諏訪市福祉医療費給付金条例の一部改正について

子どもの入院、通院医療費給付を中学校三年生まで対象の拡大。全会一致可決。

◎諏訪市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

不適正に処理した廃棄物の不法投棄を発見したとき、土地の所有者の通報努力義務が法で定められ改正するもの。全会一致可決。

◎諏訪市国民健康保険条例の一部改正について

暫定措置であった出産一時金三十九万を恒久化するもの。全会一致可決。

◎諏訪市国民健康保険税条例の一部改正について

国保税率、基礎課税分の所得割を一〇〇分の六・七へ、資産割を一〇〇分の二三・五へ、全体で約二%の引き下げの税率改定。賛成五反対一で可決。

◎諏訪市駅前市民会館の施設の一部を長期かつ独占的に使用させるについて

放送大学長野学習センターが利用している諏訪市駅前市民会館の会議室が平成二十三年三月三十一日

をもって満了となり、新たに平成三十一年三月三十一日までの八ヶ年の利用のため議会の議決が必要となるもの。全会一致可決。

◎平成二十二年度諏訪市老人保健特別会計補正予算（第二号）

平成二十三年三月三十一日付で老人保健特別会計を廃止するに伴って、過年度分医療費等の精算を行うにあたり、返納額を一般会計へ繰り出し、支払いをするもの。全会一致可決。



駅前市民会館

代表質問

代表質問は、各グループの政策上の問題などについて質問するものです。
掲載の内容は、主な質問と答弁の要旨であり、代表者の文責によるものです。

温泉活用をした「リハビリセンター」の設置運動推進を！
駅前再生推進とまちづくりを！



新政会
山田 一治

問 東バル跡地にリハビリセンター誘致について現況は。

答 リハビリ施設の整備は必要な施策。市民要望も強く日赤病院との連携が必要な施設であり、この施設のため東バル跡地を提供することは、市民の皆さんの理解を十分にいただけると考えます。病院や医師会関係者と話しをし、施設を設置していただける医療機関を模索していただけるよう進めてきた。早い時期に市内医療機関を中心に相手を決め、国・県などの補助事業を検討し、諏訪市の特色である温泉活用についても話を進めたいと考えている。

問 福祉、保健、医療の充実した都市づくりと事業の推進は。

答 児童施設整備は、保育園の再編と耐震改修整備を順次進めていく。高齢者向け施設整備は、諏訪広域連合の第四期介護保険計画で三施設の床数

の増設や市内でも各施設の建設が進められ、待機者の改善がされる。障害児の施設「清水学園」の改築整備を目指している。精神障害者施設「地域支援センター」開設に向け計画中。

問 自然環境と豊かな生活環境を求める施策は。

答 ごみ減量推進市民会議「エコプロジェクトすわ」、市衛生自治連合会が協働で、エコプロ第三期活動で推進する⑦分別促進⑧剪定木のチップ化⑨事業系ゴミ減量化⑩古紙リサイクル等の事業。また、諏訪湖浄化の推進。地球温暖化対策のノーカーデーの実施。太陽光発電施設補助事業。

問 国道二十号バイパスルート決定促進と地区協議会の統一は。

答 市内四地区委員会一本化は、情報の共有を図るべきで検討中。国の計画段階評価結果を受けての都市計画変更について、地域の住民合意形成を図るための調査の結果がまとまった後に概略計画に入ると思われる。また、県や中央要望を下諏訪町と連携を取りながら進めていく。

問 県道湖岸武津線の未整備地区の事業推進は。

答 国道より開通後は車両等通行量が増加し、交通事故等が懸念される。未整備区間の早期事業への着手、整備

促進を県に強く要望する。

問 教育の充実と青少年健全育成施策の強化は。

答 「すわっこプラン21」の見直し、家庭と仕事の両立や安心して子育ての出来る環境づくり。家庭、学校と地域が一体となり、地域ぐるみの取り組みを進める。理科離れ対応として、好奇心・興味・関心・研究力を満足させる「諏訪出張理科教室」の開催。スポーツを通し心身の健全育成のため「みんなでスポーツ教室」を予定。市民皆スポーツの推進。スポーツ施設利用者の要望に応えるべき整備に配慮する。学力調査は、小学校六年生と中学校三年生。満足度調査は、小学校二年生、四年生、中学校一年生を対象に実施。調査結果をみて今後の指導の参考とする。



諏訪赤十字病院でのリハビリ風景

問 産業振興について。

答 商業面は、駅前賑わい再生事業。工業面は、緊急経済対策や企業育成における新事業、施策、工業ビジョンの策定。産業連携推進室の設置。技能五輪大会に向け、技術者の養成とものづくり技能や技術力の底上げが出来る体制の構築を進める。観光では、観光ブランドデザインとアクションプランの実現を図る。魅力ある宿泊プログラム、食の開発、二次交通の整備、インバウンド対策。観光関係事業者のほか、商業者、まちづくり関係者として、実行性の高いアクションを推進する「新観光まちづくり事業体」を組織する。

山田市政十二年間の総括。

温泉リハビリセンター、医療費窓口無料化、保育料値下げ。



日本共産党
諏訪市議員団
守屋 陽子

問 山田市政十二年間は、国保料、下水道、学校給食費等の値上げがされた。不況の中での公共料金の値上げは市民にとって大きな痛みだった。施策は国や県のいいなり市長だったと思うが。

答 民間の景気は厳しくなっている。国は小さいところへ目を向けてほ

しい旨を全国市町村会で要望している。

問 旧東洋バルブ跡地へ「温泉リハビリセンター」を開設したいとしているが、具体的な構想は。

答 計画の推進は市で、運営主体は市内医者、建設は平成二十四年度に開催される技能五輪後になる。

問 現在国の医療抑制策によりリハビリは六ヶ月で打ち切りになる。日常生活ができるまで専門家による訓練が受けられるセンターに、日本一誇れるリハビリセンターにと願うところですか。

問 医療費が中学三年生まで拡充され、安心な子育ての環境になった。しかし、医療費は一旦窓口で支払い二ヶ月後に支払われるが、窓口での無料を以前から要望している。

答 県の方式で統一している。国からはペナルティで五千万円とられる。難しい。

問 国からの罰則、それ自体間違っている。

答 いろいろな機会に要望する。

問 諏訪市は、県内でも三番目に高い保育料である。下げる検討を。

答 国の基準に準じて行っている。

問 諏訪市は、税額により七段階になっている。税額の幅が十万円～四十万円と大きくなっている。集中している階層三、四、五の細分化をすることにより、払いやすい保育料になる。伊那市を参考に検討を。

答 諏訪市の場合は国の基準を下回っ

ている。子ども手当もあるので現状での引き下げは困難。

問 高齢者タクシーの予算は平成十六年以来増額されていない。制約が多い要綱の見直しを。買い物弱者への対応に岡谷市のように福祉タクシーを制度化したかどうか。

答 かりんちゃんバスに相当な金額を投じている。かりんちゃんバスの本数増、停留所増、狭かく路線対策、ステッ



中学生まで医療費無料



市政のここが聞きたい

一般質問

市政全般について議員が自由に質問できる一般質問の制度があります。三月定例会では十人の議員が各方面にわたって質問を行いました。掲載の内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。なお本会議の会議録は図書館、市役所ロビー、市議会事務局で閲覧できます。一般質問などの詳しい内容については会議録をご覧ください。

第五次総合計画策定について。老朽化の公共建築物の維持管理。特定健診について。



里見 貞幸

問 総合計画で描く市の将来像は。

答 高齢者・障害者・児童にやさしい福祉や健康を中心に据えたまち、がキーワードとなる。

問 計画策定のスケジュールは。

答 各種団体との懇談会を経て素案をつくり、審議会に諮る。十二月議会に基本構想案を提案したい。

問 老朽化が進む公共建設物の維持管理の考え方。

答 清掃センター、すわっこランド等大型施設は、予防保全型管理。橋梁、市営住宅、下水道事業は長寿命化計画に位置づけて対応していく。

問 公共建築物のマネジメントは。

答 市所有の六十七ヶ所の公共建築物の内、災害拠点施設二十一棟を平成二十七年までに耐震化率一〇〇%を目指す。

問 特定健診率が県下トップを誇るが、国の目標は七〇%を示している。目標に向けた対策は。

答 啓発や周知の強化、健診期間の二週間延長や、すわっこランドの利用助成券を添えて受診結果を送付するなど、市医師会と協力して、受診しやすい環境づくりを図っていききたい。

問 特定保健指導の実施率向上は。

答 健診結果説明会を実施し、保健師の説明と、電話等で特定保健指導への参加推奨を行う。説明会も開催回数を十回程度増やし、参加しやすい環境づくりをしている。



すわっこランドでの健康運動教室

市内インフラ整備と国道バイパス早期着工への取り組みは。



宮坂 勝太

問 市内の道路整備は、近隣市と比較して遅れていると考えている市民が多い。積極的な取り組みが必要。岡谷市では道路拡幅について寄付が原則ではあるが、1㎡当たり四千二百円で買い上げている。

答 当市はいままで寄付でお願いしている。買い上げは寄付をしていただいた方との整合性がとれないが、研究してみたい。

問 次に予定している都市計画道路はどこか。

答 本丸線が順番となっているが、神戸田辺線の整備も急がなければならない。地元協力が必要。

問 白狐島地域で急激な宅地化が進んでいる。このまま進んでインフラに問題はないか。

答 いくつか問題があると考えている。地元や地権者の方たちと相談をして対処したい。

問 市町村合併を市長は九月議会の答弁からすると必要ないと受け止めるが、それで良いか。

答 広域連携が福祉や消防、観光などで進んでいる。その先に合併が見えて

くると思う。

問 国道バイパスは市内工区が取り残された。このまま足踏み状態が続けば、当市に対する非難は大きい。政治生命を懸けるつもりで取り組んでほしい。

答 各地区に伺ってお話しし、賛成をいただいてきた。早期の着工に力を尽くしたい。PI方式導入や都市計画道路への付け替などに移っていくと考えている。



市道本丸線

諏訪市の今後の課題について



今井 愛郎

問 四選目の立候補を表明したわけだが、諏訪市が取り組むべき課題は？

答 福祉医療の充実として温泉リハビリセンターの建設、産業連携推進室の創設、教育再生・子育て支援として、も

のづくり教育や出張理科教室、英語教育を実施するとともに、広域連携強化。

問 諏訪市が取り組むべき最重要課題は？

答 福祉・医療・環境・教育。

問 財政が厳しいのだからあれもこれもではなく、山田市長が一番行いたいことは何か？

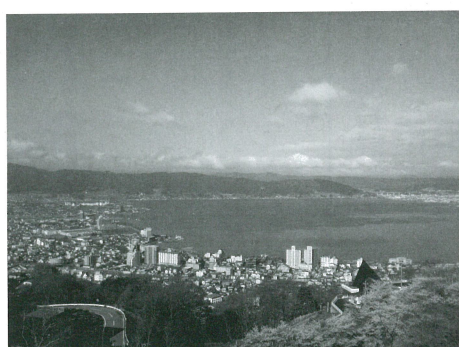
答 行政は何か一つやればよいのではなく、百貨店的な要素を持っている必要がある。

問 旧東バ跡地の『はらつば構想』はどうなったのか？

答 時々で状況が変わる。行政にはスピード感が必要。

問 買い物弱者対策として行なわれたお買物タクシースの利用者が一便当り〇・六人（一週間）に対し、『まるや』さんの利用者は一日四百人余で、市民ニーズは明らかであり、これにこそスピード感を持った対応が必要では？

答 もう少し経過を見守りたい。



立石公園より

問 一期目（十二年前）の市長後援会資料には条件の整ったところからの段階合併とあるが、今でもその気持ちに変わりはないか？

答 広域連携を壊すような合併は進めるべきではないと考えている。

問 次の合併に向けて、諏訪圏の中心である諏訪市が合併に向けた強いリーダーシップを取るべきではないか？

答 広域連携を積み重ねる中で、お互いの信頼関係を再構築することが合併への近道だと考えている。

鳥インフルエンザの対応。諏訪湖の問題。全国体力度調査結果。豊田保育園建替について。



平林 治行

問 鳥インフルエンザ対策は。

答 野鳥との接し方、発生した場合の対応について県と協議。上川や石彫公園には「餌を与えない。野鳥にふれない」との注意看板が設置されており、注意を促している。

問 カワアイサのワカサギ捕食を防ぐため猟銃を使えないか。

答 諏訪湖は猟銃禁止区域で全面禁猟、空砲も制限されている。諏訪湖鳥類被害対策協議会を設置し、要望していきたい。

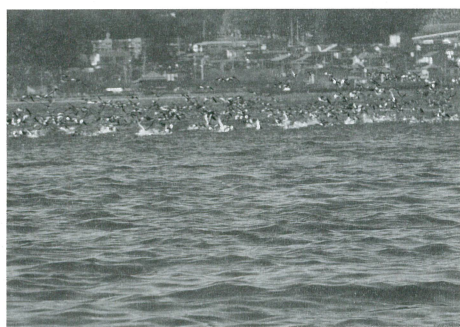
問 全国体力度調査結果、県内児童が全国平均を大きく下回っているが、諏訪市の現状は。

答 小学五年と中学二年を対象に、握力や五十m走、ボール投げなど八種目を選定。諏訪市の数値は小学生が男女ともに、全国・県平均を下回る。中学生は男女とも全国平均と県平均を上回っているが、運動離れの現状を思い、考えていきたい。

問 スケート発祥の地でもある。スケート教室について、クラブ員減少の現在、補助金の見直しにより人口増を考えるとどうか。

答 平成四年三月諏訪市パイピングリンク廃止に伴う条件として、保健体育総務費のスケート助成事業に予算計上しており、今後も続けていきたい。

問 豊田保育園建替を予定しているが、文出保育園との統合などの方向性は。来年度設計し、平成二十四年度建設工事、平成二十五年度開園予定。再編は保育所専門委員会の答申を待つて決めていきたい。



カワアイサの群れ

一・子ども権利条例と子どもをめぐる課題について 二・まちの賑わいを取り戻すために



有賀ゆかり

問 子ども権利条例制定に向けて、県や他市町村で動きがあるが諏訪市の対応は。

答 県は制定に向け検討委員会の立ち上げなど始まっている。状況をみて次世代育成協議会に諮って検討する。

問 一定数の登校できない子どもがいるのは事実。学ぶ権利をどう保障するか。

答 様々な要因によるが、多様性を認め、あらゆる手段で保障する。

問 特別支援教育においても、様々な課題がある。

答 今のままで良いとは考えていない。養護学校分校など6市町村教委で考えていく。

問 経済的理由が教育格差とならないための支援は。

答 早朝や放課後に基礎基本の徹底を工夫している。家庭学習充実も地域本部事業で取り組む。

問 プレイパークの状況は。

答 市の公園で活用できる場所を検討している。運営は民間団体で。

問 子どもの参加する権利、意見表明権を。

答 ワークショップを行う。子どもだけの議会も検討してみたい。

問 駅前を子育て世代、高齢者、学生など多世代が活動・交流しやすい場所に。

答 子育て支援、一時預かりが5月からスタート。みんなの広場の空き時間を中高生の学習に解放。

問 二次交通の拠点としての充実を。

答 観光案内所の拡張に合せて、情報発信の仕方を工夫。

問 チャレンジプラザ事業の独立支援が機能していない。幅広い分野のチャレンジを支援すべき。

答 要綱の改正を検討したい。



チャレンジプラザ事業

市役所からの発信と改革・霧ヶ峰の再生について



横山 真

問 市長の四期目に向けた最大の決意は。

答 生涯安心して暮らせる諏訪に向け、温泉リハビリセンター設置を中心に産業や子育て、広域連合、諏訪湖の問題などに取り組みたい。

問 さらになる行革の努力を。

答 使い切り予算からの脱却で積み重ねてきた効果額は大きい。本年度からカイゼン活動を始め、職員削減はほぼ限界まで達成。ただ行革は継続が大切だ。

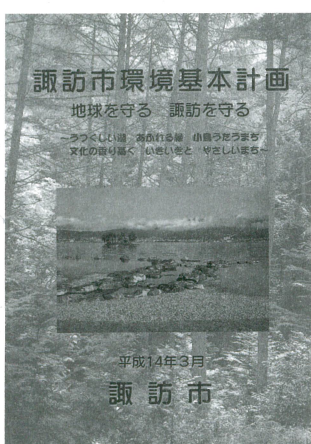
問 環境基本計画の策定について、現計画をどのように検証し、霧ヶ峰自然環境保全協議会の計画や活動とつながった形にしていくのか。

答 現環境基本計画は六つの基本目標から構成され、それぞれ個別目標が設定されており、現状、基本施策及び市民事業者、市それぞれの行動指針が示されている。①達成度を市民・事業者へのアンケートにより、評価、点検し検証する。

②計画全体の検証は、霧ヶ峰、諏訪湖に関係している方々を中心とした策定委員のメンバーで行う予定。

問 P D C A の見直し、霧ヶ峰自然環境保全協議会の計画とのすり合わせ、新たに盛り込む内容は。

答 鹿の頭数増による農作物やニッコウキスゲへの被害拡大。諏訪湖におい



現在の諏訪市環境基本計画

では、水質浄化とヒシの異常繁殖による諏訪湖底層の貧酸素状態等の新たな問題が発生しており、こうした問題への対応策や予防策を考慮しながら、新計画に盛り込んでいかなければならないと思っている。

国保税一世帯三万円引き下げを。権現沢までの新川改修について。こなみ保育園改築事業について。



藤森 守

問 自治体の最大の仕事は福祉の増進。市の高すぎる国保税は負担が重く、引き下げが必要。一世帯三万円の引き下げを求めます。

答 今回は将来に負担をかけない三千五百円の引き下げを行う。

問 二年続けての黒字が二億円ある。この活用と全国の七割の自治体と県下十九市中、十二市が行っている法定外繰り入れで三万円引き下げは可能。

答 健全運営が求められており、二%引き下げに理解を。

問 岡谷市も一億円繰り入れを行う。駐車場、霧ヶ峰リフトへ一億一千万円の繰り入れを行っている。なぜ国保はダメなのか。

答 他市はやむをえずの決断。将来にかあれば繰り入れを考える。私も市民と共同して市民負担軽減へ

努力する。

問 平成二十一年の局地豪雨災害を受けて権現沢までの新川改修が進むことになった。規模とスケジュールは。

答 改修は一・一km、流下能力は三倍に。右岸道路は幅十一mに。下流を先行し、早期完成をめざす。

問 市営新川団地の対応は。

答 新川団地は廃止。他の市営住宅、水戸代団地への移転となる。

問 サイフオンは県の責任で改修を。ポンプも残してほしい。

答 そうします。

問 こなみ保育園の全体構想は。

答 定員は二百人。南向き、鉄筋コンクリート二階建、延床面積一一八〇㎡。保育室八室。地域子育て支援室を設ける。

問 駐車場対策は。

答 隣接地と周辺で百五十台を確保する。



上流も改修することになった新川

行政の情報公開を推進。公会計制度の充実。「財政の見える化」推進。市内のカラス被害対策。



水野 政利

問 情報公開の現状と課題は。

答 情報公開制度は一九九九年制定し、〇一年度に本格運用。請求に応じて公開するが、実際には年間数件。

問 市議会への市民の関心を高めるため、市議会本会議などの映像放送は。

答 かりんチャンネルで一般質問など音声放送している。動画は費用がかかるので、当面考えていない。ネット公開も機材整備など高額になるのがネック。

問 信州市民オンブズマンにより「民主度ランキング」で、諏訪市が十九市中十九位との報道に、市民の落胆と不審の声への見解は。

答 調査項目の評価配点による影響が大きいと考える。

問 諏訪市の公会計制度の現況と課題は。

答 現在は総務省方式改訂モデルを採用して、昨年に続き、「普通会計財務書類四表」から見る諏訪市の財政状況を「広報すわ」等で市民に公開している。また市の財政状況の推移を見守る中で、更なる公会計制度の充実改善を図っていく。

問 市内のカラスによる被害状況と対応策は。

答 生活環境上の被害として、燃やすごみ袋中の生ごみを狙い食い散らかす。柳並公園や通行に支障となるフン被害。また果樹や野菜などで深刻な被害あり。駆除や光照射などの対策を講じているが苦慮している。

問 市内のカラス被害壊滅のために、官民あげて「カラス被害壊滅・プロジェクト」設置を。

答 関係課所と協議する。

「普通会計財務書類4表」から見る諏訪市の財政状況

1 バランスシート	2 行政コスト計算書	3 純資産変動計算書	4 資金収支計算書
-----------	------------	------------	-----------

普通会計財務書類四表

議会任期を終了するにあたり、三十年以来未解決の国道バイパス問題の前進に向けて、外。



三村 陸雄



環境整った諏訪湖畔

問 観光都市に相応しいごみ処理行政として、ポイ捨て条例、住民監視体制の強化、更に事業系ごみ減量等、従来に増して踏み込んだ取り組みについて。

答 ポイ捨て条例の他に、更に罰則規定を設けることは考えていないが、条例の目的を達成するため、市内の関連団体との連携を深め、パトロール、監視の充実を図り、地域ぐるみで取り組んでいく。事業系ごみの減量については、対象事業者の訪問、懇談を行い啓発に努める。

問 観光都市として、湖畔・旅館街等の駐車場、歩道の整備など、都市として恥ずかしくない整備を望む。

問 諏訪圏域内の上下水道工事の施工方法等の統一化と、施工業者の責任体制の確立化と行政のスリム化を問う。

問 国道二十号バイパスは、既に三十年以上にも及び促進を図ってきたが、諏訪市と下諏訪が取り残された状況となった。観点を換え、国への対応の強化、地域の問題点把握の強化、下諏訪地区との連携の強化等、強力な対応を求める。

問 以上にも及び促進を図ってきたが、諏訪市と下諏訪が取り残された状況となった。観点を換え、国への対応の強化、地域の問題点把握の強化、下諏訪地区との連携の強化等、強力な対応を求める。

問 諏訪圏域内の上下水道工事の施工方法等の統一化と、施工業者の責任体制の確立化と行政のスリム化を問う。

問 国道二十号バイパスは、既に三十年以上にも及び促進を図ってきたが、諏訪市と下諏訪が取り残された状況となった。観点を換え、国への対応の強化、地域の問題点把握の強化、下諏訪地区との連携の強化等、強力な対応を求める。

問 以上にも及び促進を図ってきたが、諏訪市と下諏訪が取り残された状況となった。観点を換え、国への対応の強化、地域の問題点把握の強化、下諏訪地区との連携の強化等、強力な対応を求める。

問 以上にも及び促進を図ってきたが、諏訪市と下諏訪が取り残された状況となった。観点を換え、国への対応の強化、地域の問題点把握の強化、下諏訪地区との連携の強化等、強力な対応を求める。

答 政権交代により、公共事業の方針、新規事業化の難しさ等、早期促進には大きなハードルがあるが、ここ数年が正念場と捉え、市として今やらねばならないことを再確認して、国への要望を継続するとともに、下諏訪との連携、地域と一体となって前進すべく考えていく。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。



神澤 孝昌

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 山田市政十二年の思いは。人口減少・世帯減少の原因と対策は。中門川ヨシ撤去と浚渫について。

問 諏訪市は、二千二十九人、三・八%減で五万二千二百十一人となっている。要因を推測すると、自然動態（出生・死亡）の減少と社会動態（転入・転出）の減少が続いている。経済不況が考えられる。

問 諏訪市は、二千二十九人、三・八%減で五万二千二百十一人となっている。要因を推測すると、自然動態（出生・死亡）の減少と社会動態（転入・転出）の減少が続いている。経済不況が考えられる。

問 諏訪市は、二千二十九人、三・八%減で五万二千二百十一人となっている。要因を推測すると、自然動態（出生・死亡）の減少と社会動態（転入・転出）の減少が続いている。経済不況が考えられる。

問 諏訪市は、二千二十九人、三・八%減で五万二千二百十一人となっている。要因を推測すると、自然動態（出生・死亡）の減少と社会動態（転入・転出）の減少が続いている。経済不況が考えられる。

問 諏訪市は、二千二十九人、三・八%減で五万二千二百十一人となっている。要因を推測すると、自然動態（出生・死亡）の減少と社会動態（転入・転出）の減少が続いている。経済不況が考えられる。

問 諏訪市は、二千二十九人、三・八%減で五万二千二百十一人となっている。要因を推測すると、自然動態（出生・死亡）の減少と社会動態（転入・転出）の減少が続いている。経済不況が考えられる。

問 諏訪市は、二千二十九人、三・八%減で五万二千二百十一人となっている。要因を推測すると、自然動態（出生・死亡）の減少と社会動態（転入・転出）の減少が続いている。経済不況が考えられる。

問 諏訪市は、二千二十九人、三・八%減で五万二千二百十一人となっている。要因を推測すると、自然動態（出生・死亡）の減少と社会動態（転入・転出）の減少が続いている。経済不況が考えられる。

問 諏訪市は、二千二十九人、三・八%減で五万二千二百十一人となっている。要因を推測すると、自然動態（出生・死亡）の減少と社会動態（転入・転出）の減少が続いている。経済不況が考えられる。

問 諏訪市は、二千二十九人、三・八%減で五万二千二百十一人となっている。要因を推測すると、自然動態（出生・死亡）の減少と社会動態（転入・転出）の減少が続いている。経済不況が考えられる。

問 諏訪市は、二千二十九人、三・八%減で五万二千二百十一人となっている。要因を推測すると、自然動態（出生・死亡）の減少と社会動態（転入・転出）の減少が続いている。経済不況が考えられる。

問 諏訪市は、二千二十九人、三・八%減で五万二千二百十一人となっている。要因を推測すると、自然動態（出生・死亡）の減少と社会動態（転入・転出）の減少が続いている。経済不況が考えられる。

問 諏訪市は、二千二十九人、三・八%減で五万二千二百十一人となっている。要因を推測すると、自然動態（出生・死亡）の減少と社会動態（転入・転出）の減少が続いている。経済不況が考えられる。

問 諏訪市は、二千二十九人、三・八%減で五万二千二百十一人となっている。要因を推測すると、自然動態（出生・死亡）の減少と社会動態（転入・転出）の減少が続いている。経済不況が考えられる。

問 諏訪市は、二千二十九人、三・八%減で五万二千二百十一人となっている。要因を推測すると、自然動態（出生・死亡）の減少と社会動態（転入・転出）の減少が続いている。経済不況が考えられる。

問 諏訪市は、二千二十九人、三・八%減で五万二千二百十一人となっている。要因を推測すると、自然動態（出生・死亡）の減少と社会動態（転入・転出）の減少が続いている。経済不況が考えられる。

問 諏訪市は、二千二十九人、三・八%減で五万二千二百十一人となっている。要因を推測すると、自然動態（出生・死亡）の減少と社会動態（転入・転出）の減少が続いている。経済不況が考えられる。



ヨシが繁茂している中門川

～市議会解説コーナー～

■定例会とは

付議事件の有無にかかわらず定期的に招集される議会のことで、諏訪市では条例で年4回（3月、6月、9月、12月）と定められています。定例会はあらかじめ付議する事件を告示する必要はなく、一般質問を含め、議会の権限に属する全てを審議することが出来ます。

■臨時会とは

定例会とは別に緊急性のある事件が発生し、臨時の必要がある場合に特定の事件に限ってこれを審議するために招集される議会のことです。あらかじめ付議事件を告示し、緊急を要するものを除き、あらかじめ告示された事件に限って審議することが出来ます。

3月定例会の提出案件の審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第2号	平成23年度諏訪市一般会計予算	可決（賛成多数）
議案第3号	平成23年度諏訪市国民健康保険特別会計予算	可決（賛成多数）
議案第4号	平成23年度諏訪市霧ヶ峰リフト事業特別会計予算	可決（全会一致）
議案第5号	平成23年度諏訪市奨学資金特別会計予算	可決（全会一致）
議案第6号	平成23年度諏訪市公設地方卸売市場事業特別会計予算	可決（全会一致）
議案第7号	平成23年度諏訪市駐車場事業特別会計予算	可決（全会一致）
議案第8号	平成23年度諏訪市後期高齢者医療特別会計予算	可決（賛成多数）
議案第9号	平成23年度諏訪市水道温泉事業会計予算	可決（全会一致）
議案第10号	平成23年度諏訪市下水道事業会計予算	可決（全会一致）
議案第11号	諏訪市原田泰治美術館ナীবアート基金条例を廃止するについて	可決（全会一致）
議案第12号	諏訪市保育所条例の一部改正について	可決（全会一致）
議案第13号	諏訪市福祉医療費給付金条例の一部改正について	可決（全会一致）
議案第14号	諏訪市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
議案第15号	諏訪市国民健康保険条例の一部改正について	可決（全会一致）
議案第16号	諏訪市国民健康保険税条例の一部改正について	可決（賛成多数）
議案第17号	諏訪市公設地方卸売市場条例の一部改正について	可決（全会一致）
議案第18号	諏訪市水道事業給水条例及び諏訪市温泉事業給湯条例の一部改正について	可決（全会一致）
議案第19号	諏訪市駅前市民会館の施設の一部を長期かつ独占的に使用させるについて	可決（全会一致）
議案第20号	市道路線の廃止について	可決（全会一致）
議案第21号	平成22年度諏訪市一般会計補正予算（第7号）	可決（全会一致）
議案第22号	平成22年度諏訪市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
議案第23号	平成22年度諏訪市老人保健特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
議案第24号	平成22年度諏訪市水道温泉事業会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
議案第25号	平成22年度諏訪市下水道事業会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
議案第26号	平成22年度諏訪市一般会計補正予算（第8号）	可決（全会一致）

議会の傍聴にお出かけください

～次回の定例会は
6月です～

詳しい日程については議会事務局へお問い合わせを。（TEL0266-53-0261）

LCV13チャンネルで、代表質問・一般質問の音声と静止画像による市議会生中継を行っていますのでご覧ください。
また、専用の車いすに座ったまま階段の移動が可能な階段昇降機を導入し、傍聴席も車いすのまま傍聴することが可能なスペースを設けました。ご利用のお申込みやご不明な点がございましたら、諏訪市議会事務局か総務課（52-4141）までお電話ください。

陳情等は、招集日の一週間前までに提出を！

編集後記

このたび東日本大震災により被害を受けられました皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧をお祈り申し上げます。

私達四年間の任期後半の最後の発行となりました。議会だより編集委員会では、早い発行とわかりやすい議会の情報を市民の皆さんにお届けすることを目標に考えてまいりました。

思うように発行できなかった点を反省し、今後につなげたいと思います。

地方自治体の果たす役割の重さを心に、今後もその情報と議員定数減の密度の濃い議会の様子をお伝えしていきたいと考えております。

新しい議会だより編集委員会に期待したいと思います。



議会だより編集委員会

委員長 平林 治行
副委員長 有賀 ゆかり
委員 横山 徳枝
委員 高村 睦雄
委員 三守 陽子